財務局
Regional Finance Bureaus

# 最近の岐阜県内の経済情勢

令和8年11月5日

東海財務局　岐阜財務事務所




東海財務局公式キャラクター
**とうかいサウルス**
（岐阜・鵜飼バージョン）

# 1.岐阜県内の経済情勢（令和８年10月判断）

| 項目 | 前回（8年7月判断） | **今回（8年10月判断）** | 前回比較 | 総括判断の要点 |
|---|---|---|---|---|
| 総括判断 | 緩やかに回復しつつある | **緩やかに回復しつつある**<br>【令和6年10月判断以来、9期連続で同じ判断】 |  | **個人消費は、持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。** |

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

| 項目 | 前回（8年7月判断） | **今回（8年10月判断）** | 前回比較 |
|---|---|---|---|
| 個人消費 | 持ち直している | **持ち直している**<br>【令和5年10月判断以来、13期連続で同じ判断】 |  |
| 生産活動 | 緩やかに回復しつつある | **緩やかに回復しつつある**<br>【令和6年10月判断以来、9期連続で同じ判断】 |  |
| 雇用情勢 | 緩やかに改善しつつある | **緩やかに改善しつつある**<br>【令和4年10月判断以来、17期連続で同じ判断】 |  |

※8年10月判断は、前回8年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

# 1.岐阜県内の経済情勢（令和８年10月判断）

## 【前回との比較（個人消費、生産活動、雇用情勢）】

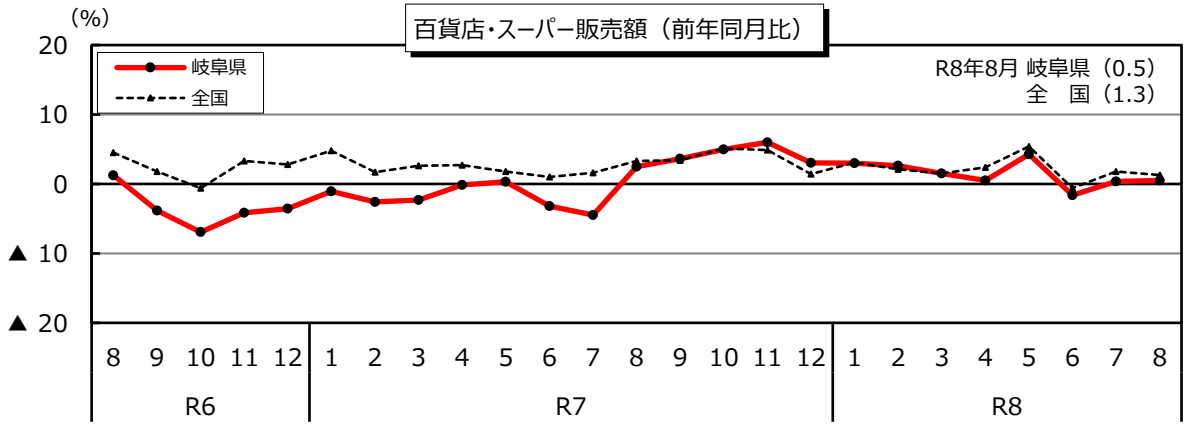
| | 前回（8年7月判断） | 今回（8年10月判断） | 前回比較 |
|---|---|---|---|
| 総括判断 | 緩やかに回復しつつある | 緩やかに回復しつつある | → |
| 個人消費 | 持ち直している | 持ち直している | → |
| （百貨店・スーパー） | 緩やかに回復しつつある。 | 緩やかに回復しつつある。 | → |
| （コンビニエンスストア） | 一進一退の状況にある。 | 一進一退の状況にある。 | → |
| （ドラッグストア） | 堅調となっている。 | 堅調となっている。 | → |
| （ホームセンター） | 緩やかに持ち直しつつある。 | 緩やかに持ち直しつつある。 | → |
| （家電） | 回復しつつある。 | **回復に向けたテンポが緩やかになっている。** | ↘ |
| （乗用車） | 緩やかに持ち直しつつある。 | 緩やかに持ち直しつつある。 | → |
| 生産活動 | 緩やかに回復しつつある | 緩やかに回復しつつある | → |
| （汎用機械等） | 弱い動きとなっている。 | 弱い動きとなっている。 | → |
| （輸送機械） | 緩やかに回復している。 | 緩やかに回復している。 | → |
| （電気機械） | 回復している。 | **緩やかに拡大しつつある。** | ↗ |
| （金属製品） | 緩やかに回復しつつある。 | 緩やかに回復しつつある。 | → |
| （窯業・土石） | 弱い動きとなっている。 | 弱い動きとなっている。 | → |
| （プラスチック） | 持ち直しの動きがみられる。 | 持ち直しの動きがみられる。 | → |
| 雇用情勢 | 緩やかに改善しつつある | 緩やかに改善しつつある | → |
| （有効求人倍率） | おおむね横ばいで推移している。 | おおむね横ばいで推移している。 | → |

# 1.岐阜県内の経済情勢（令和8年10月判断）

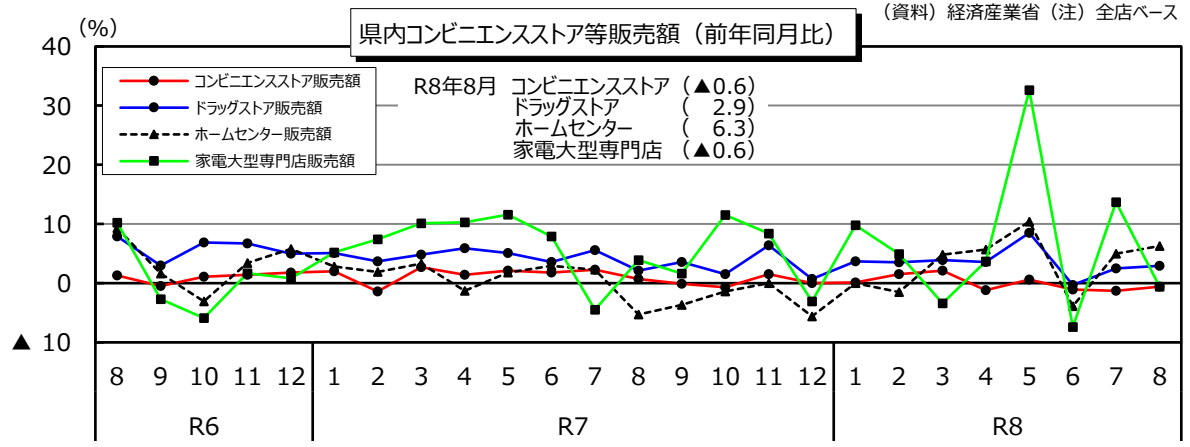
## 【前回との比較（設備投資、企業収益等）】

| | 前回（8年7月判断） | 今回（8年10月判断） | 前回比較 |
|---|---|---|---|
| 設備投資 | 8年度は増加見込み | 8年度は増加見込み | → |
| 企業収益 | 8年度は増益見込み | 8年度は増益見込み | → |
| 企業の景況感 | 全産業の現状判断（8年4-6月期）は「下降」超 | 全産業の現状判断（8年7-9月期）は「下降」超 | → |
| 住宅建設 | 前年を上回っている | 前年を上回っている | → |
| 公共事業 | 前年を上回っている | 前年を上回っている | → |
| 企業倒産 | 件数は前年を上回っている | **件数は前年を下回っている** | ↗ |

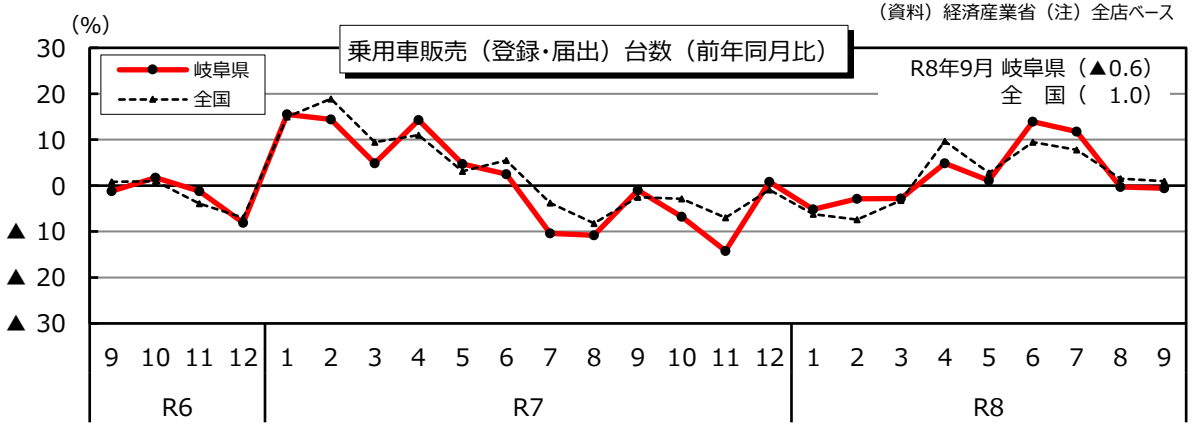
# 2.個人消費　～持ち直している～




（資料）経済産業省（注）全店ベース




（資料）経済産業省（注）全店ベース




（資料）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

- 百貨店・スーパー販売は、緩やかに回復しつつある。
- コンビニエンスストア販売は、一進一退の状況にある。
- ドラッグストア販売は、堅調となっている。
- ホームセンター販売は、緩やかに持ち直しつつある。
- 家電大型専門店販売は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。
- 乗用車販売は、緩やかに持ち直しつつある。

【主なヒアリング結果】

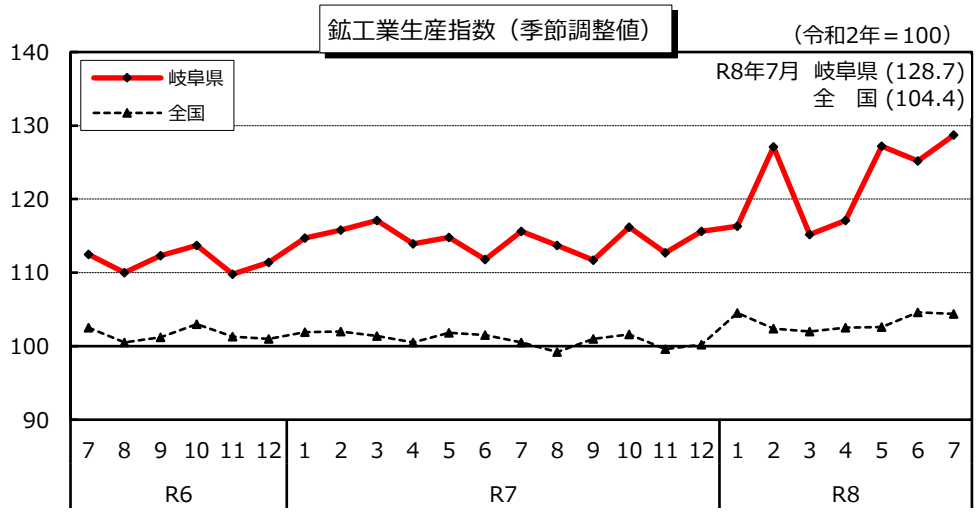
➢ 消費者の価格への反応が敏感になるなど節約志向が続く一方で、高単価の果物や総菜等の販売が順調に推移しており、メリハリ消費が継続している。また、買上点数も底堅く推移している。　【スーパー】

➢ 暑さ対策商品等の季節商品が伸びなかったものの、販売促進や新規出店効果により、調剤・物販ともに売上げが増加している。　【ドラッグストア】

➢ 商品単価の上昇に伴い、売上高は大きく落ち込んでいないものの、昨年のパソコン買い換え需要の反動減や、エアコン需要の先食いによる反動などから、販売数量は伸び悩んでいる。　【家電大型専門店】

➢ 受注制限のない車種が増加しており、販売台数は前年を上回って推移している。今後は生産ペースが早まることで販売台数の増加を見込む。　【乗用車販売】

## 3.生産活動　～緩やかに回復しつつある～



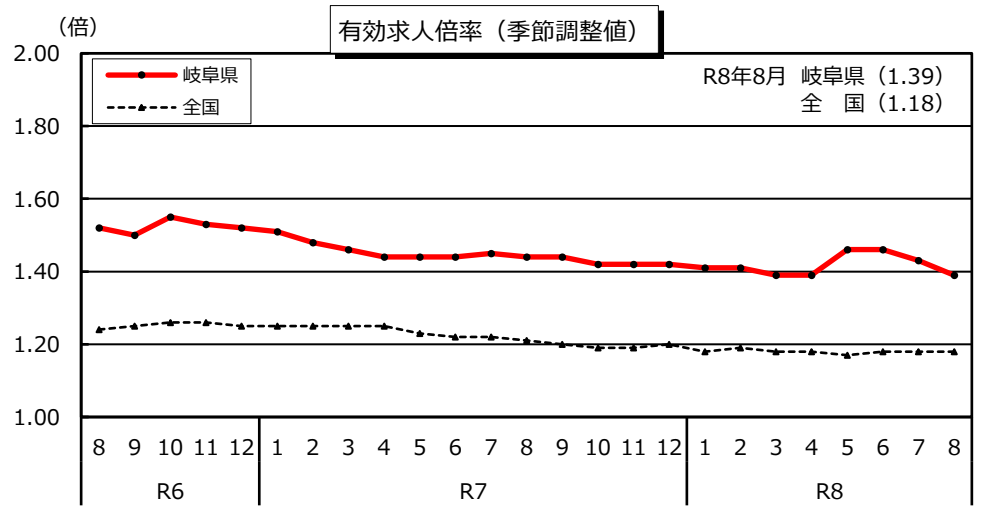

（資料）岐阜県、経済産業省

- 汎用・生産用・業務用機械は、弱い動きとなっている。
- 輸送機械は、緩やかに回復している。
- 電気機械は、緩やかに拡大しつつある。
- 金属製品は、緩やかに回復しつつある。
- 窯業・土石は、弱い動きとなっている。
- プラスチックは、持ち直しの動きがみられる。

【主なヒアリング結果】

- 熊本地震の影響等により、取引先メーカーの工場が稼働停止となったことで一時的に減産したものの、足下では米国及び国内需要が堅調であることから、生産は高水準で推移している。　【輸送機械】
- AIサーバー向けの需要は引き続き強く、今後も需要はさらに伸びていくと見ており、この好調な状態が続く見通し。　【電気機械】
- 取引先メーカー自体が販売好調の状況にあることから、熊本地震による影響を除けば安定的に生産できており、今後の生産も横ばいで推移する見通し。　【金属製品】

## 4.雇用情勢　～緩やかに改善しつつある～




（資料）厚生労働省

- 有効求人倍率は、おおむね横ばいで推移している。

【主なヒアリング結果】

- 高卒採用を中心に人員確保が難しい状況が続いている。採用強化には既存社員の満足度向上が重要との考えから、ベースアップや福利厚生の充実など人材の定着に向けた取組を進めている。　【製造業】
- 技能伝承に向け、フィジカルAIの活用や専門職・ベテラン社員の知見を蓄積したAIチャットボットの活用を検討するなど、AI活用を進めている。　【製造業】
- パート・アルバイト比率が高いことから、最低賃金の引上げによる人件費への影響は、原材料価格高騰よりも大きな負担となっており、価格転嫁だけでは対応が難しい。　【小売業】
- 製造業では、幅広い業種において求人が増加しており、持ち直しの動きがみられるほか、卸売業・小売業でも求人の下げ止まりの動きがみられる。　【公的機関】

1.本調査結果に関する問い合わせは下記にお願いします。

財務省東海財務局　岐阜財務事務所　財務課
TEL (058)247-4112 (ダイヤルイン)

2.本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

https://lfb.mof.go.jp/tokai/gifu.htm